

盛岡市出資等法人の第三者評価結果に対する措置計画に基づく措置状況

番号	4	法人名	公益財団法人 盛岡市文化振興事業団	所管課	市民部 文化国際室
----	---	-----	----------------------	-----	--------------

1 法人の課題

【財務状況】

健全な法人経営を継続していくためには、外部資金の獲得が不可欠です。収益力の強化に向け、外部資金の獲得や業務の効率化、経費の削減などに取り組む必要があります。

対応策	措置状況																
公的な助成金や企業協賛金などの外部資金の積極的な導入に努めます。また施設管理費等運営経費については、常に見直しを図りながら運営コストの削減に努めるとともに、省エネ、環境問題についても積極的に取り組むこととし、冷暖房の適正管理や事務室照明, 光熱水費等の節減に努めます。 <取組工程> <table><tr><th>年度</th><th>取組内容</th></tr><tr><td>25 年度</td><td> ・公的な助成金や企業協賛金のさらなる調査研究 ・業務の効率化, 省エネ対策等の調査, 経費の分析等 </td></tr><tr><td>26 年度</td><td> ・公的な助成金や企業協賛金の費用対効果等の精査, 研究 ・業務の効率化の実施 ・省エネ対策等の導入計画作成 </td></tr><tr><td>27 年度</td><td> ・公的な助成金や企業協賛金の申請, 導入 ・業務の効率化の継続, 省エネ対策の実施 </td></tr></table>	年度	取組内容	25 年度	・公的な助成金や企業協賛金のさらなる調査研究 ・業務の効率化, 省エネ対策等の調査, 経費の分析等	26 年度	・公的な助成金や企業協賛金の費用対効果等の精査, 研究 ・業務の効率化の実施 ・省エネ対策等の導入計画作成	27 年度	・公的な助成金や企業協賛金の申請, 導入 ・業務の効率化の継続, 省エネ対策の実施	・国, 県などの公的助成金, 企業への協賛金の働きかけに努めた結果, 文部科学省, 文化庁等からの助成金等を, 地元金融機関から協賛金を導入することができました。 ・LED 照明の導入による省エネ対策, 会計システムの運用の強化等による業務の効率化に努めました。 <取組実績> <table><tr><th>年度</th><th>取組内容</th><th>達成状況</th></tr><tr><td rowspan="2">25 年度</td><td>・国, 県などの公的助成金, 企業への協賛金の導入</td><td>○</td></tr><tr><td>・LED 照明の導入による省エネ対策, 会計システムの運用の強化等による業務の効率化</td><td>○</td></tr></table>	年度	取組内容	達成状況	25 年度	・国, 県などの公的助成金, 企業への協賛金の導入	○	・LED 照明の導入による省エネ対策, 会計システムの運用の強化等による業務の効率化	○
年度	取組内容																
25 年度	・公的な助成金や企業協賛金のさらなる調査研究 ・業務の効率化, 省エネ対策等の調査, 経費の分析等																
26 年度	・公的な助成金や企業協賛金の費用対効果等の精査, 研究 ・業務の効率化の実施 ・省エネ対策等の導入計画作成																
27 年度	・公的な助成金や企業協賛金の申請, 導入 ・業務の効率化の継続, 省エネ対策の実施																
年度	取組内容	達成状況															
25 年度	・国, 県などの公的助成金, 企業への協賛金の導入	○															
	・LED 照明の導入による省エネ対策, 会計システムの運用の強化等による業務の効率化	○															

【活動成果】

- ① 成果指標の設定に当たっては、現在も取組がなされているところですが、更に詳細な分析を行うことも検討されていることから、例えば、活動成果を客観的に評価できる「計数管理」の手法を取り入れることの検討が望まれます。
- ② 利用者が減少している施設については、早期に対策を講じることが必要です。

盛岡市出資等法人の第三者評価結果に対する措置計画に基づく措置状況

番号	4	法人名	公益財団法人 盛岡市文化振興事業団	所管課	市民部 文化国際室
----	---	-----	----------------------	-----	--------------

対応策	措置状況														
① 施設運営や自主事業の推進など事業団事業について自己評価を行い、目標達成状況等をチェックしておるところですが、今後さらに詳細に、お客様満足度や市民ニーズ等の把握等のため、計数管理の手法の導入も含め、客観的な評価の導入につきまして検討してまいります。 <取組工程> <table><tr><th>年度</th><th>取組内容</th></tr><tr><td>25 年度</td><td>客観的評価の調査研究</td></tr><tr><td>26 年度</td><td>客観的評価の当事業団への導入項目・方法選定</td></tr><tr><td>27 年度</td><td>客観的評価の導入</td></tr></table>	年度	取組内容	25 年度	客観的評価の調査研究	26 年度	客観的評価の当事業団への導入項目・方法選定	27 年度	客観的評価の導入	客観的評価の導入へ、利用者からの要望や苦情等の把握に努めております。また、公益財団法人への移行に伴い評価項目について、各施設に合致した評価項目や評価方法について計数管理も含め検討し、より多くの人に納得いただける自己評価につなげられるよう調査研究しております。 <取組実績> <table><tr><th>年度</th><th>取組内容</th><th>達成状況</th></tr><tr><td>25 年度</td><td>・客観的評価の導入に向けた調査研究</td><td>○</td></tr></table>	年度	取組内容	達成状況	25 年度	・客観的評価の導入に向けた調査研究	○
年度	取組内容														
25 年度	客観的評価の調査研究														
26 年度	客観的評価の当事業団への導入項目・方法選定														
27 年度	客観的評価の導入														
年度	取組内容	達成状況													
25 年度	・客観的評価の導入に向けた調査研究	○													
② ホームページのリニューアル、情報誌の発行及びその設置場所の工夫、ポスターやチラシ等の有効活用等により、施設の PR により利用者増加に努めてまいります。 また、各施設が連携した企画や事業、広報等について検討してまいります。 <取組工程> <table><tr><th>年度</th><th>取組内容</th></tr><tr><td>25 年度</td><td>・ホームページのリニューアル ・各施設の連携事業・施設の PR 方法の研究</td></tr><tr><td>26 年度</td><td>・ホームページの検証・修正 ・各施設の連携事業・施設の PR 方法の研究・検討の継続及び可能なものについての企画</td></tr><tr><td>27 年度</td><td>・ホームページの検証・修正 ・各施設の連携事業・施設の PR 方法の研究・検討の継続及び可能なものについて導入</td></tr></table>	年度	取組内容	25 年度	・ホームページのリニューアル ・各施設の連携事業・施設の PR 方法の研究	26 年度	・ホームページの検証・修正 ・各施設の連携事業・施設の PR 方法の研究・検討の継続及び可能なものについての企画	27 年度	・ホームページの検証・修正 ・各施設の連携事業・施設の PR 方法の研究・検討の継続及び可能なものについて導入	・ホームページをリニューアルし、施設等の PR の充実を図りました。 ・石川啄木記念館の新規指定があり、連携事業も再検討しております。 <取組実績> <table><tr><th>年度</th><th>取組内容</th><th>達成状況</th></tr><tr><td>25 年度</td><td>・ホームページのリニューアル ・石川啄木記念館の新規指定により、連携事業の再検討</td><td>◎ ○</td></tr></table>	年度	取組内容	達成状況	25 年度	・ホームページのリニューアル ・石川啄木記念館の新規指定により、連携事業の再検討	◎ ○
年度	取組内容														
25 年度	・ホームページのリニューアル ・各施設の連携事業・施設の PR 方法の研究														
26 年度	・ホームページの検証・修正 ・各施設の連携事業・施設の PR 方法の研究・検討の継続及び可能なものについての企画														
27 年度	・ホームページの検証・修正 ・各施設の連携事業・施設の PR 方法の研究・検討の継続及び可能なものについて導入														
年度	取組内容	達成状況													
25 年度	・ホームページのリニューアル ・石川啄木記念館の新規指定により、連携事業の再検討	◎ ○													